

別紙 7

【薬効分類】 1 1 4 解熱鎮痛消炎剤

【医薬品名】 エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行			改訂案		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、ホスアンプレナビル、アタザナビル、ダルナビル）、エファビレンツ、コビススタット含有製剤、マクロライド系抗生物質（エリスロマイシン、ジョサマイシン、クラリスロマイシン、ロキシスロマイシン）、アゾール系抗真菌薬（イトラコナゾール、ミコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール）、レテルモビル、エンシトレルビル、レナカパビル、ロナファルニブ、5-HT <sub>1B/1D</sub> 受容体作動薬（スマトリプタン、ゾルミトリプタン、エレトリプタン、リザトリプタン、ナラトリプタン）、麦角アルカロイド（エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン）を投与中の患者			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、ホスアンプレナビル、アタザナビル、ダルナビル）、エファビレンツ、コビススタット含有製剤、マクロライド系抗生物質（エリスロマイシン、ジョサマイシン、クラリスロマイシン、ロキシスロマイシン）、アゾール系抗真菌薬（イトラコナゾール、ミコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール）、レテルモビル、エンシトレルビル、レナカパビル、ロナファルニブ、 <u>セリチニブ</u> 、5-HT <sub>1B/1D</sub> 受容体作動薬（スマトリプタン、ゾルミトリプタン、エレトリプタン、リザトリプタン、ナラトリプタン）、麦角アルカロイド（エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン）を投与中の患者		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
HIVプロテアーゼ阻害剤	エルゴタミンの血中	これらの薬剤が	HIVプロテアーゼ阻害剤	エルゴタミンの血中	これらの薬剤が

<p>リトナビル含有製剤  ホスアンプレナビル  アタザナビル  ダルナビル  エファビレンツ  コビススタット含有製剤  マクロライド系抗生物質  エリスロマイシン  ジョサマイシン  クラリスロマイシン  ロキシスロマイシン  アゾール系抗真菌薬  イトラコナゾール  ミコナゾール  フルコナゾール  ホスフルコナゾール  ボリコナゾール  ポサコナゾール  レテルモビル  エンシトレルビル  レナカパビル  ロナファルニブ</p>	<p>濃度が上昇し、血管  攣縮等の重篤な副作  用を起こすおそれか  ある。</p>	<p>CYP3A4を阻害す  ることにより、  エルゴタミンの  代謝が阻害され  る。</p>	<p>リトナビル含有製剤  ホスアンプレナビル  アタザナビル  ダルナビル  エファビレンツ  コビススタット含有製剤  マクロライド系抗生物質  エリスロマイシン  ジョサマイシン  クラリスロマイシン  ロキシスロマイシン  アゾール系抗真菌薬  イトラコナゾール  ミコナゾール  フルコナゾール  ホスフルコナゾール  ボリコナゾール  ポサコナゾール  レテルモビル  エンシトレルビル  レナカパビル  ロナファルニブ  セリチニブ</p>	<p>濃度が上昇し、血管  攣縮等の重篤な副作  用を起こすおそれか  ある。</p>	<p>CYP3A4を阻害す  ることにより、  エルゴタミンの  代謝が阻害され  る。</p>
--	---	--	---	---	--